

会 議 録

1 会議名

平成 29 年度第 7 回高土区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 高土の未来づくり懇談会について（公開）
- (2) テーマの整理について（公開）

3 開催日時

平成 29 年 11 月 20 日（月）午後 6 時 30 分から午後 8 時 10 分まで

4 開催場所

高土地区公民館 2 階 中会議室

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：青木正紘（副会長）、飯野憲静（会長）、金子和博、小林トシ子、建入一夫
樋口義昭、日向こずえ、細谷八重子、横川英男、横山とも子（欠席 2 人）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【田中主事】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【飯野会長】

- ・ 挨拶

【田中主事】

- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【飯野会長】

- ・ 会議録の確認者：建入委員

議題「(1) 高士の未来づくり懇談会について」事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・ 資料No.1 により説明

【飯野会長】

懇談会を開催するかどうかを協議していく。委員に意見を求める。

(発言なし)

開催の必要だと思うかたは、挙手願う。

(過半数挙手)

では、懇談会を開催することとする。次に、日にちを決める。去年は1月27日であった。

【日向委員】

この時期だと、夜は集まらないではないかと思うのだが、土日は駄目なのか。

【田中主事】

それは皆さんお任せする。都合のつくタイミングで決めていただいてよい。

【飯野会長】

正副会長で候補日を設定するか。

【山田センター長】

去年、事前周知するまで、ある程度の期間が必要だということで、日にちが決定された。

【横川委員】

春までは土曜日は空いていない。

【金子委員】

個人的には日曜日のほうがよい。

【飯野会長】

1月28日はどうか。

【青木副会長】

各町内で懇親会等が入ってくる時期である。

【建入委員】

平日にやるしかないのではないか。昨年の集まりは、そんなに悪くなかったはずである。

【飯野会長】

平日がよいという人と、日曜日がよい人がいる。また対象者だが、前期の地域協議会委員は町内会長を経験している人が多かったため、町内会長のみを対象とした懇談会は行ってこなかった。しかし、今の委員で町内会長を経験しているのが青木副会長と私だけである。他の区は町内会長との懇談会を毎年行っているので、今回は町内会長との懇談会を行ってもよいのかと思う。町内会長との懇談会ならば、夜でもよいし、対象者を幅広くするならば休日のほうがよいと思う。

【横川委員】

できれば平日が良い。日曜日は休みたい。

【建入委員】

平日案がよい。また、対象者は地区全体の方を対象にしたほうがよいと思う。町内会長さんだけよりも、地域全体の幅広い話が聞けたほうがよいと思う。

【青木副会長】

高土区では、協議会で決まったことは、町内会長をとおして皆さんにお願いすることになるので、できるだけ町内会長と良好な関係を持ったほうがよいと思う。

町内会長会はこの町内も、人がいない中で編成されているし、そんなに人数が多いわけではないので、一挙にやってしまったほうがよいと思う。

【横川委員】

今は日程を決めるということか。

【飯野会長】

日程も決めるが、対象者により日程が変わると思うので、まず対象者を全体とするのか、町内会長のみとするのか、意見を求める。

【金子委員】

前回は大勢の皆さんがいたが、意見はまとまったのか。

【飯野会長】

まとまっていない。

【金子委員】

時間が短かったためだと思うが、対象者を制限すると意見を言ってくる方もいるか

もしれない。

【飯野会長】

全体を対象にしたほうがよいという意見が出たので、そのようにするか。

【横川委員】

地区の全員を対象にして、町内会長は全員出てくださいというかたちにすれば、問題は無いのではないかと。

【飯野会長】

対象は全員だが、町内会長は全員出るように依頼することとする。日にちは、平日にするか日曜日にするか。

—（「平日がよい」の声）—

【金子委員】

正副会長は出席しなければいけないので、正副会長の都合の良い日に一任する。

【飯野会長】

それでは1月の下旬ということでしょうか。

（「はい」の声）

後日、事務局と打ち合わせをして日にちを決定する。また、対象者を区全体から参加者を募ることとし、町内会長は必ず参加をお願いする。

次に「(2) テーマの整理について」事務局に説明を求める。

【田中主事】

・資料No.2、資料No.3、資料No.4により説明

【飯野会長】

まず、資料No.3に「三葉山登山」とあるが、これは「^{みはか}三墓山登山」の間違いだと思
うので修正願う。今の説明に質疑を求める。

（発言なし）

高土区の自主的審議のテーマを決めていきたいと思う。出てきた意見のなかで、ど
れを採用するのだが、どのカテゴリーがよいか委員に発言を求める。

【小林委員】

これは、来年度やるのか。

【飯野会長】

時期は決まっていない。

【小林委員】

高士スポーツ広場は平成 30 年度で廃止になってしまう。冬の除雪も中学校の体育館までは予定もないようなので、来年度だと入ることもできなくなってしまうから、今から決めないと。その辺はどうか。

【飯野会長】

今日のテーマは、前回出された意見の中から自主的審議のテーマを決めることである。高士スポーツ広場については、後日、体育課から詳しい説明があると思う。

【小林委員】

地区民が本当に考えてくれているのかどうかというのが心配である。

【飯野会長】

改めて今の問題について、取り上げて自主的審議としてやるのかどうかだと思ふ。

【小林委員】

資料にある委員の意見でも、「元中学校でパターゴルフ」とある。

【飯野会長】

これは、大勢の意見ではない。

【日向委員】

分布数が多いほど広域的な効果が期待できるという結論なので、分布数が多くて、かつ皆さんの意見が多いものから選ぶのがよいと思う。分布数は 4 が 1 番多く 4 項目ある中で、意見数の多いものは「交流」もしくは「情報発信」になると思う。

【横山委員】

どのくらいに絞り込んでいけばよいのか。カテゴリーを 1 個や 2 個に絞り込めばよいのか。

【田中主事】

自主的審議事項のテーマは大体の区は 1 つに絞ってるが、春日区では「観光」「安心・安全」「福祉」の 3 つの項目に分けて進めている。カテゴリーの中から 1 つずつ選んで 3 つにしてもよいし、それぞれのカテゴリーを 1 つにまとめていってもよいと思う。例えば観光を進めていく中でも情報発信をより強化して進めていく方法もあるので、ある程度自由に組み合わせていくこともできる。

【飯野会長】

日向委員に聞くが、「交流」の中からどれがよいかは限定していないのか。

【日向委員】

分布数が多いほど効果が期待できるとあるので、この4つの中から選ぶのがよいのではないかと思った。

【横山委員】

カテゴリーされたものがあるが、分布数と意見数を加味した場合に、意見数が多いほど関心があり、広域性があるということである。資料No.3のマンダラシートで8つのカテゴリーに分かれているが、交流の中にも高齢者が入っていたり、いろいろと関係性もでてくるので、どこに絞るかというのはちょっと難しいと思う。

【青木副会長】

「交流」1つだけでもよいのではないかということだが、その中で全てに通じる場合もあるだろうし、焦点が絞られることもあると思う。「交流」と「情報発信」を合わせてもよいと思う。

【飯野会長】

「交流」を自主的審議のテーマとして進めていくのか。

【横山委員】

前期委員のときは、持続性のあるコミュニティについて協議し、若い人たちの意見の掘り出しをテーマにした。内側を見た課題を重視するのか、もしくは外に向けた発信を重視するのか。どちらを優先するのかのテーマをまず決める。その後、優先順位の高いものから出していくのが分かりやすいのではないかと。まずは外向けなのか内に向けての話なのかを決めたほうがよいと思う。

優先順位としては、高士区の場合は明らかに内側の問題をやるべきだとは思う。内側を優先するならば、そこから優先事項が高いものは何か。子どもなのか、高齢化なのか、世代間の交流とした場合に、何が重要なのかを決めていったらよいと思う。

【飯野会長】

なかなか焦点を絞りにくいですが、先日、雄志中学校生徒との意見交換会後に、津有区、諏訪区、高士区の3区合同で意見交換をした。その中で人口減少や少子高齢化の課題はどこも同じだが、すぐには解決できない。では、我々が一番悩んでいるのが、少子高齢化だが、それをテーマとして取り上げて、物事は進むのかという話もあった。

資料No.4の黒田小学校や、柿崎の斎場の問題のように具体的なものが高士区に存在しないわけではない。高士スポーツ広場の問題は、今後どうなるかは別として、地元

の人でも関心のある人は一部であり、具体性もないのでテーマそのものになりにくい。何か良い知恵はないか。

【金子委員】

これは、この中から公益性の効果のあるものを1つ進めれば、高士はよくなるということで、最終的には市に予算を出してほしいというところまでが、この自主的審議なのか。

【田中主事】

資料No.4で触れたがゴールについては、地域で何かをやる場合に市に予算を求めるのもゴールの1つである。自主的審議にこれといったゴールはなく、どの区も模索しているような状況はある。市に予算を出してほしいや市政に反映してほしいなど協議を進めていくうえで、地域が解決するべきだとなれば、その解決方法を地域協議会と地域で探っていく。必ずしも、市に予算を求めることがゴールではない。

【金子委員】

このマンダラシートをやったおかげで、問題が広がってしまった。問題を絞るよりも、いっぱい出そうということでやったので、薄く広くになってしまい、どうしたらよいか分からなくなった。

【建入委員】

前回欠席したのだが、このマンダラシートという手法を使って、集約して意見数を分類してある。金子委員の言うように、ピンと来ないのは事実だと思う。交流数に意見が集中しているが、本当は我々のみているものは違うのではないかと、漠然としていると思う。

【飯野会長】

他の区のテーマ設定はどうなのか。

【山田センター長】

他の区の状況についてだが、春日区では前期委員からのテーマをベースにして、春日山城を中心とした「観光の活性化」、子どもや高齢者の問題の「福祉」、町内会の防犯活動が活発な地域なので「安心・安全」の3つのテーマによる分科会を設置し、活動を始めた。

諏訪区では意見交換会を行っても若い人が集まって来ないということで、若い人の意見を聞くためにアンケートを行った。諏訪区は、28区の中で1番人口が少ないので、

小学校がこのままではなくなってしまうかもしれないという危機感があった。

そういったことから、今年の 8 月に「移住促進諏訪の会」を地域住民によって立ち上げた。自主的審議の成果がでた 1 つの例だと考えている。

高士区については、「若い人との意見交換会」も行い、結果としてキャンドルイベントの開催という好事例もでた。マンダラシートの真ん中にあるカテゴリーは、過去 3 年間の皆さんの意見交換の内容等が凝縮されている。カテゴリーで「観光」や「交流」、「情報発信」が上位にきた理由に、委員に若い世代が入ってきたことが、反映されているものと思う。ますます分からなくなったというのは、見方の違いであり、ここで 1 つ整理されたというふうに捉えていただくべきだと思う。

【建入委員】

最終的な狙いの着地点が見えていないので、絞り込めないのではないかと。人口減少等の何か問題があるから、高士をどうしたいかという部分がないというか、ぼやけている。そういうことがないと、皆さんとテーマや絞り込みについてもできないのではないかと思う。

【横川委員】

これは、すぐに早くテーマを決めなければいけないのか。1 月に町内会長さんたちを集まっていたときに、意見が出てきたらそれを選ぶこともよいと思う。ここにあるもので選ぶのは難しい話になるのだろうと思う。

【飯野会長】

住民の皆さんと意見交換会のなかで、意見を聴きながらテーマを絞り込むという方法もあると思う。

はっきりとしたテーマを決めかねているが、延ばし延ばしにしてもいつかの時点で決めなければいけない。1 月の意見交換の中でもう一度、テーマを考え直して後で決める方法もあるが、意見を求める。

【日向委員】

去年も「高士の未来づくり懇談会」に友人を連れて参加したのだが、皆さんの意見を聴いて、私たち委員が 1 年間、何をしてきたのかの経過報告をしたほうがよいと思う。

私としてはテーマを決めて、高士区協議会からこのようなテーマでやっていこうという報告があったほうがよいと思う。テーマを決めるのは難しいとは思いますが、ある程

度絞ったなかでの話し合いでないと、同じことの繰り返しだと思う。テーマは決まらず、来年になったらどれだけ進んでいるのかということ、残り 2 年半の任期の中で何かできたら良いと思う。友人も 1 年間活動してきたことを知りたいと言っているので、結果報告はあったほうがよいと思う。

【横山委員】

町内会長を交えた 1 月の懇談会のときに、テーマが決まっていない状態だったら、皆さんからは、またいろいろな話題が出るだけになってしまう。その前にある程度絞り込んで、懇談会のときには、そこに対しての意見をもらうことがよいのではないか。内側に向けた課題と外側に向けた課題とあるが、人口減少に対して、外から流入してくるのを望むのならば、「情報発信」も必要である。情報発信して、高士に来てもらおうとしても魅力がなければ来ないので、内側と外側に対して同時に進行していかないと間に合わないかなという危機感を感じる。例えば、情報発信と内側を充実させるテーマを 1 つずつ作って進行していけばよいと思う。

マンダラシートだと混乱するようならば、まずは各委員が外側と内側に対して自分が大事だと思う課題を 1 つずつ出して、絞り込んでみたらマンダラシートのものがヒントになるのではないか。

【飯野会長】

なかなか煮詰まらないので、改めて、各委員から出してもらい集約するか。

【青木副会長】

テーマを 1 年近く揉んできたので、協議会委員はこう考えたというものを出して、そのテーマを中心に話し合うことがよいと思う。そうでないと、また振り出しに戻るようになってしまう。

【飯野会長】

いろいろな皆さんのご意見の中で、カテゴリーの「交流」「情報発信」「高齢者」の中から 1 つずつ選ぶのか。広く考えてもなかなかまとまらない。「観光」の意見が多いが、場合によっては「情報発信」とも重なる部分もある。

【横川委員】

ここに出ている意見は、大体全てに共通する部分だと思う。何か 1 つのテーマを決めて、後から出てきたものとは棲み分けていかないと、なかなか整理が難しい。「交流」と「情報発信」の中にコミュニティーや高齢者も関わってくることである。

【青木副会長】

「交流」といってもお茶飲みすればよいということではないので、テーマを決めて交流するということになると思う。「交流」というのを1つ取り上げておいて、何を落とすところにするのか。どういう構成にするのかを詰めていけばよいのではないか。

【飯野会長】

横山委員の言われたように、大まかにテーマを「交流」と「情報発信」とすれば、内側と外側になる。情報発信は外に向けて発信するし、交流の中で世代間やまた後で何か出てくるとは思う。「交流」と「情報発信」がテーマになるのかなと思うが、どうか。

【横山委員】

カテゴリー分けにこだわるのが、そもそも混乱する元なのではないか。カテゴリーを外して、「世代間の交流」「女性間の交流」「若い世代の交流」のように交流が少ないということがこの地域の問題点として覆ってみて、それに対してどうしたらよいのかを考えていけばよいのではないか。また、それが魅力になっていけば外から人が集まってくるというふうに考えて、カテゴリーに集約されると混乱すると思うので、皆さんの中で重要だと思う意見を引き上げたいと思う。

【青木副会長】

テーマを絞った「交流」でないと1年前に戻ってしまう。話し合いを活発にするようなルールを作る。

【飯野会長】

空き家や子どもなど、ある程度目に見えるが、「交流」は目に見えない。

【横川委員】

世代間の交流というのは、小学校の文化祭のような部分になってしまうし、手っ取り早いのは、「情報発信」が一番良いのではないか。

【金子委員】

カテゴリーを絞るのか。

【飯野会長】

カテゴリーを絞るわけではないが、大まかに整理されているため、その中から選ぶのがよいのではないか。

【金子委員】

マンダラシートの真ん中に高土区の課題があり、さらに8つにある課題の中で、どれか1つに絞れないかと思ったが、あまりに多すぎてよく見えてこない。1つないし2つに選んで、さらに絞っていけばよいと思うがどうか。

【飯野会長】

地域内外の交流拡大というのは、「交流」と「情報発信」につながる。

【金子委員】

マンダラシートにたくさん出てきているが、この中で重要なものを全ての項目から1つか2つ選んで、その中から絞り込んで、1番重要で実現性が高いものを選べば、絞り込みやすいのではないか。

改めて聞くが、テーマは今日決めなければいけないのか。

【飯野会長】

必ずしも今日決めなくてもよいが、1月の懇談会のときに、1年間何をしていたのかというふうになる可能性もある。また、同じような話で1年間終わってしまう可能性もあるが、それが皆さんの意見ならば仕方ないとも思う。願望はあってもどれに絞ってやりたいかは、町内会長クラスを集めても、地区の皆さんを集めて昨年のように話し合っても、同じような話で終わってしまう。

【金子委員】

昨年の意見交換会では、私の班だけかもしれないが、高土区の良いところを話して終わってしまった。1番問題になっているところが出てこなかった気がする。実際に今度参加される方には、高土区が抱える問題点を1つか2つ出してもらって、まとめていってもよい気がする。

【横川委員】

高土区は平和すぎて、何が問題なのかは、とても考えられない。本当に困れば考えるのだろうが、自分の身の回りで困ったこともないので、なかなか考える機会は少ないと思う。

【飯野会長】

それぞれの年代で困ったことは違うと思うが、私くらいの年代では、高土区は商店街が無くなったので、車の運転ができなくて買い物に行けない買い物弱者がこれからどんどん増えていくのである。車の運転をしているうちはよいが、免許があっても危なくて運転できない人も増えてくる。その時に、どういうふうな状況で支えていくの

かが問題である。

また、牧区では高士区よりも、高齢化率が高いが、山間部の中でどうやって生活をしているのかが不思議である。若い人はよいが、そういうことをひしひしと感じる。

【横山委員】

日向委員などはまだ子どもが小さいので、子供を持つ親の視点から見えてくる課題もあると思う。また、うちのように子どもがいなければ、2人で年老いていけば、ここで生活していくためにどうするか考えるだろうと思う。また、もっと若い世代の人であれば、その年代で考えることもあると思う。

私は金子委員の意見に賛成で、参加される方には、課題を持ってきてほしいと思う。そうすれば委員のなかでも、今、高士に必要だと思っていることが何かという意見も具体的なものが出てくるのではないかと思う。

うちは子どもがいないが、学校が無くなることは非常に怖いことだと思う。どんどん子どもが減り、年寄りばかりになってしまうので、子どもを増やすために外から流入してもらえるように情報発信をしていかなければいけない。そのためには、高士の魅力は何なのかを見直す、または向上させることが大事だと思う。それぞれの皆さんは何が課題だと思っているのか、私は聞いてみたいと思う。

【建入委員】

高士区の人口減少のデータを見たときに恐ろしいと思うため、人口減少抑制は重要だと思う。他の意見にもつながっているので、「人口減少抑制」をテーマとしてよいと思う。

【日向委員】

中学生との意見交換会に参加したが、諏訪区の人に高士区は未知の場所だといっていた。その中で中学生が言っていたのだが、自分たちの町をきれいにしようという運動の1つでゴミ拾いをしている運動をしている。どこにゴミが多いかのマップを3年間作ってきたそうだが、来年はどんなことをやりたいかと話を聞いたら、各地区の魅力的な場所のマップを作りたいとの話だった。雄志中学校では今年自分たちの住んでいる所のフォトコンテストがあり表彰も行っている。そのようなマップを子どもたちが作りたいという話を聞いて、情報発信は大切だと思った。「情報発信」を1つのテーマに絞ったらよいと思う。

【飯野会長】

大きなテーマで、「情報発信」とするならば、今の高士の魅力や空き家問題もついてくる。

【建入委員】

問題を解決するような進め方のほうが、納得性があると思う。「人口減少抑制」という問題を大きなテーマとした中で、「情報発信」や「空き家対策」がついてきたほうが分かりやすいと思う。

【横山委員】

私も建入委員の意見に賛成で、「情報発信」や「空き家対策」は方法であって、問題というのは「高齢者」や「人口減少等」の分かりやすいものが良いと思う。

【飯野会長】

人口減少の対策で、移住促進や空き家対策、子どもたちの住み良い環境等も全て出てくる。我々が一番切実に思っている、人口減少の抑制になるかと思う。メインのテーマは「人口減少抑制」としてよいか。

(「はい」の声)

テーマは「人口減少抑制」とし、それに後からいろいろな部分がついてくるのは、どうするか。

【田中主事】

大きなテーマは決まったので細かい部分については、これから協議していけばよいと思う。また、テーマの正式な名前についても今後協議できたら良いと思う。

【飯野会長】

テーマは「人口減少抑制」ということで、「(2) テーマの整理について」は終了する。

「4 その他」、次回の会議の日程を決める。

— 日程調整 —

- ・ 次回の協議会：12月12日（火）午後6時30分から
- ・ 会議の閉会を宣言

【青木副会長】

- ・ 閉会の挨拶

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。